

彼は城を開場し 堀の水を抜き 装甲を外して裸になった
もつと自分の中を見せたい

もつと事物を繋げたい

自分の中に近づけば近づくほど面白いと思った

包丁を手にして 腹を捌き溢れる腸を見せた

まろび出た中身をひとしきり抑え 自らの手を見た

真っ赤に染まったそれを見て 「なんじゃこりゃあ」と言った
気づくのが遅いよ、と誰かが言った